

# 健康・福祉

## 施策の方向性



地域の福祉コミュニティづくりを進め、地域でともに生き、支えあいながら自分らしく生きることができる地域社会をめざします。

障害の有無や年齢などに関係なく、すべての人の人権と移動の自由が保障された「福祉のまちづくり」を推進します。

高齢者が住み慣れた地域で安心して、元気に、生き生きとくらすことができるよう、在宅介護サービスを適切に提供し、介護保険施設の計画的整備を進めます。また、障害者一人ひとりが、地域でその人らしくらせるよう、「すまい」、「いきがい」、「ささえあい」の視点から、地域生活を支援します。

質の高いがん治療を受けられるよう、県立がんセンターを整備します。また、医師の確保対策や心身の健康づくりを推進します。

県立保健福祉大学(大学院)や実践教育センターなどで保健・医療・福祉に携わる質の高い人材を育成します。また、保健・医療・福祉を支える看護人材・介護人材の確保・定着を支援します。



## 戦略プロジェクト 8

# ともに生き、支えあう地域社会づくり

### 戦略プロジェクトのねらい

様々な生活上の課題を抱え、孤立してしまう人がいます。年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが地域の中で生き生きと暮らし続けることができるよう、「誰も排除しない、誰も差別されない、共に生き、支え合う社会づくり」を進めます。

また、誰もが自分の意思で自由に移動し、積極的に社会参加することができる、バリアフリー化された「福祉のまちづくり」に取り組みます。

### 取り組む事業

身近な地域で課題を受け止め、様々なサービスや助け合い活動をつなぎ、問題を解決するなど、福祉コミュニティづくりを進める「地域福祉コーディネーター」を育成します。

判断能力が十分でない人の権利を守る成年後見制度の普及や、福祉サービス利用援助事業の拡充などを進めます。

鉄道の駅、県が管理する道路のバリアフリー化や県立都市公園のユニバーサルデザイン化を進めます。

### 目標 支え合いの地域づくりをめざして実践力を高めようとする人の数(単年度)

- 地域福祉コーディネーター研修会等の受講(参加)者数 -

現状(2006年度)

684人

2010年度の目標

770人

### 目標 バリアフリー化駅舎整備数(累計)

現状(2006年度)

218駅

2010年度の目標

243駅



「みんなのトイレ」

## 戦略プロジェクト 9

# 高齢者が安心してくらするしくみづくり

### 戦略プロジェクトのねらい

今後は高齢化が急速に進み、身体の機能が衰えたり、記憶障害や判断力の低下などの症状が出る認知症になったりして介護を必要とする人が増えると予想されることから、住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けることのできるしくみづくりや、介護保険施設の計画的な整備を進めます。

また、介護が必要な状態になることを予防する取組みや、高齢者虐待の防止対策、認知症に対する理解を深める活動を進めます。

### 取り組む事業

介護が必要となっても住み慣れた地域で安心してくらすことができるよう、ニーズに応じたサービス提供体制を整備します。

介護問題に関する相談や苦情に対応するしくみづくりを進めます。

特別養護老人ホームなどの介護保険の入所型施設の計画的な整備を進めます。

介護が必要な状態になることを予防する取組みや、スポーツや文化活動などによる高齢者の生きがいづくりを進めます。

高齢者虐待を防止するため、身体をベッドへ縛り付けるなどの身体拘束廃止に関する研修を実施します。また、認知症に対する理解を深めるため地域で活動する人材を養成します。

### 目標 高齢者1,000人当たり、要介護3以上の高齢者1,000人当たりの特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の整備床数(累計)

ア 高齢者1,000人当たり整備床数

現状(2006年度)

14.3床

2010年度の目標

16.0床

イ 要介護3以上の高齢者1,000人当たり整備床数

現状(2006年度)

263床

2010年度の目標

286床

### 目標 介護予防を実践し、要支援・要介護状態になることを予防する人数(単年度)

現状(2006年度)見込

850人

2010年度の目標

17,750人



介護予防の取組み



介護保険施設でのレクリエーション





戦略プロジェクト10

障害者の地域生活を支えるしくみづくり

戦略プロジェクトのねらい

障害があっても、施設や病院ではなく、地域でくらすことができるよう、障害福祉制度は大きく変わりました。そこで、障害者が住み慣れた地域で安心してくらすしていくためのしくみづくりや、就労など社会参加への支援を行います。また、地域でくらすための総合的な相談を受けられる体制づくりを進めるほか、リハビリテーションの推進体制を整備します。

取り組む事業

施設に入所している方や、精神科病院に入院している方などが、地域で生活していくための支援を行います。

障害者の多様なニーズに対応するために、就労など社会参加のための拠点づくりを進め、いきがいを支えます。

地域で生活していくうえで生じる様々な課題に応じて、市町村が行う身近な相談から県が行う専門的な相談まで、重層的な支援体制をつくります。

リハビリテーションの拠点施設を整備するとともに、人材の育成や地域連携システムの構築を進めます。

目標 グループホームなどで生活する人(単年度)

現状(2006年度)見込

3,500人

2010年度の目標

5,500人

目標 ホームヘルプサービスの支給時間数(単年度)

現状(2006年度)見込

212,300時間 / 1か月

2010年度の目標

338,000時間 / 1か月

目標 支援を受けながら、就労に向けて作業や訓練などを行う人(単年度)

現状(2006年度)見込

17,000人日

2010年度の目標

144,000人日

単位の人日とは、「月間の利用人員」×「1人1月当たりの平均利用日数」です。



福祉施設における製パン作業



歩行訓練の様子

主な担い手ごとに期待される役割(例)

戦略プロジェクト8~10の主な担い手ごとに期待される役割(例)は、次のとおりです。

県民

主体的な地域へのかかわり、介護予防や生きがいづくりなど

福祉専門職・ボランティアなど

多様な生活課題や福祉ニーズの発見、様々な主体と連携した援助など

NPO・企業など

地域社会の一員としての地域や社会全体への貢献など

福祉サービス事業者など

高齢者や障害者の立場に立った、質の高い介護保険・障害福祉サービスの提供など

市町村

高齢者や障害者の地域生活の支援や、地域福祉の活性化など

県

障害者のための専門性の高い相談支援や、高齢者虐待防止の取り組みなど



## 戦略プロジェクト 11

# 安心してくらせる地域保健・医療体制の整備

### 戦略プロジェクトのねらい

県民が死亡する原因の3分の1を占めるがんの死亡率低下をめざし、がん予防のための生活習慣の改善や、早期発見・早期治療のしくみづくりを進めます。

また、産科医師の減少により、出産を取り扱う病院も減ってきていることから、地域において県民が安心して出産できるよう、医師確保対策を進めるとともに、救急医療体制を充実するなど、地域医療を確保するための取組みを進めます。

さらに、糖尿病や心臓病などの生活習慣病や自殺を予防する取組みを進めます。

### 取り組む事業

地域で質の高いがん医療や、今日の医療で治る見込みのない末期状態のがん患者の痛みや不安を和らげる治療を受けられるような仕組みづくりを進めます。

地域医療の提供体制を確保するため、離職・退職した医師の再就業支援などにより医師確保対策を進めます。また、小児・精神科をはじめとする救急医療体制の充実を図ります。

がんや生活習慣病にならないような体の健康づくりや、自殺予防を含めたこころの健康づくりに取り組めます。

### 目標 がん診療連携拠点病院の整備(累計)

現状(2006年度)

11箇所

2010年度の目標

12箇所

### 目標 救命救急センター設置数(累計)

現状(2006年度)

11施設

2010年度の目標

13施設



県立がんセンター

## 戦略プロジェクト 12

# 保健・医療・福祉人材の育成・確保

### 戦略プロジェクトのねらい

住み慣れた地域で質の高い保健・医療・福祉サービスを受けることができるよう、専門性を身に付けた保健・医療・福祉に携わる人材の育成を進めるとともに、安定して人材が確保されるような取組みを強化します。

また、実際に活動している人材に対する研修を行うことにより、資質や専門性の向上を図ります。

### 取り組む事業

県立保健福祉大学・大学院において、保健・医療・福祉に携わる人材の養成を進めます。

勤務環境の改善や、修学資金の貸し付けなどにより、人材の確保・定着を図ります。

県立保健福祉大学実践教育センターにおける研修や、県独自の認定研修のしくみづくりを通じて、人材の質や専門性の向上を図ります。

### 目標 県内の就業看護職員数

現状(2006年度)

56,514人

2010年度の目標

75,000人

### 目標 質の高い介護保険のサービス提供をめざして資質向上を図る介護支援専門員の数(累計) - 介護支援専門員現任者研修の修了者数 -

現状(2006年度)

0人

2010年度の目標

15,200人

2006年度までの累計11,321人  
2010年度の目標は、2006年度を基準(0)とした累計



看護人材の育成



主な担い手ごとに期待される役割(例)

戦略プロジェクト11・12の主な担い手ごとに期待される役割(例)は、次のとおりです。

県民

生活習慣の改善や健康の自己管理など

保健・医療・福祉専門職・ボランティアなど

研修の受講を通じた資質の向上や健康づくりの支援など

企業(保険者)

従業員の健康づくりの支援や健康診断の実施など

保健・医療・福祉機関

患者の視点に立った質の高い医療の提供や、研修の実施、受講環境の向上など

市町村

地域における健康づくりの推進や検診の実施など

県

保健・医療・福祉機関との連携の促進や人材の育成・確保対策の推進など



実施計画



移動献血車



理学療法の実習



高齢者のスポーツ大会



救急医療中央情報センター



## がん対策について



### 予防 早期発見

### がんにならない神奈川づくり

- 喫煙率の減少・受動喫煙の防止  
「公共的施設における禁煙条例(仮称)」の制定による、受動喫煙の防止
- 塩分や脂肪分の過剰摂取防止
- がん検診の積極的受診を進める体制づくり



検診を  
受けましょう



## 県民の皆さん



### 治療

### がんにつけない神奈川づくり

#### 質の高いがん医療提供体制

- がん診療連携拠点病院の整備
- 医療従事者への研修
- がん医療に関する情報提供・相談・臨床研修
- 身近な地域でがん診療を行う病院・診療所との連携

#### ターミナルケアの推進

- ターミナルケアの人材育成(医療従事者など)
- 在宅緩和ケアの推進

